

大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019 - 2023 (案)

に関する御意見と計画の愛称を募集します！

京都市は、数多くの大学・短期大学が集積し、人口の約1割に当たる学生が学ぶまちです。この都市特性をいかすため、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2014-2018」を公益財団法人大学コンソーシアム京都と協働で策定し、施策を推進してまいりました。

この度、これまでの本市・大学コンソーシアム京都の取組や大学・学生を取り巻く社会状況の変化等を踏まえ、後継計画である「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019 - 2023」(案)を取りまとめましたので、市民の皆様からの御意見を募集します。

また、本計画の愛称も併せて募集します。「大学のまち京都・学生のまち京都」にふさわしく、親しみやすいネーミングをお待ちしています。

※ このパンフレット及び「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019 - 2023 (案)」の全文は、京都市情報館（京都市役所のウェブサイト）の市民意見のページで御確認いただけます（URL：〇〇〇）。

皆様からのたくさんの御意見をお待ちしております！愛称もぜひ応募してください！



【募集期間】

平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 ()

【御意見の提出方法】

御意見は、郵送、FAX、電子メール、京都市ホームページ内の送信フォーム、持参のいずれかの方法により提出してください（詳細は〇〇ページ参照）。

【送付先及び問合せ先】

〒604-8571（住所の記入は不要）

京都市総合企画局 総合政策室 大学政策担当

電話 075-222-3103 FAX 075-212-2902

電子メール daigakuseisaku@city.kyoto.jp

【御意見の取扱いについて】

- いただいた御意見につきましては、意見募集の終了後に、御意見の概要及び御意見に関する本市の考え方を取りまとめ、上記のウェブサイトで公表します。
- 御意見に対する個別の回答はいたしませんので、予め御了承ください。

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019 - 2023」(案) の概要

第1編 計画策定の趣旨など

<これまでの京都市・大学コンソーシアム京都の取組>

- ・「大学のまち・京都21プラン」策定と大学コンソーシアム京都創設, キャンパスプラザ京都建設, 留学生スタディ京都ネットワーク設立
- ・「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」の策定・推進

<計画策定の趣旨>

社会状況の変化や国の動向、前計画の成果を踏まえ、京都市と大学コンソーシアム京都の協働で策定

<計画の推進に向けて>

「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」において、毎年度、進捗管理・点検

第2編 大学・学生を取り巻く状況と課題

<状況>

- ・18歳人口の減少と、進学における東京圏への集中や地元志向の高まりを受けた学生の獲得に向けた競争の激化
- ・就職状況は改善しているものの、中小企業の担い手不足が顕著

<今後の課題>

(1) 「京都ならではの学び」の充実

- 大学間連携による学びの充実
- 大学の個性化・特色化

(2) 大学・学生の国際化の促進

- 留学生の更なる誘致
- 留学生の京都への定着

(3) 学生の主体的な活動とまちづくりの融合

- 地域や企業との接点, 文化芸術と触れ合う機会の充実による学生の成長の後押し
- 学生の力のまちづくりへの反映

(4) 学生の進路・就業への対応

- 京都の地域企業と学生の出会いの場づくり
- 働き方改革の推進による就業環境の向上

(5) 大学と産業・文化・地域の連携の推進

- 京都ならではの生涯学習・リカレント教育の推進
- 産学公の連携強化, 文化芸術都市としての魅力向上

(6) 「大学のまち」「学生のまち」の発信力の強化

- 学生の獲得に向けた, 中高生や保護者, 留学生, 社会人を対象とした戦略的なPR
- 市民や観光客へのPR

第3編 目指すべきビジョンと基本方針

<ビジョン>

世界に誇る 「大学のまち」「学生のまち」で あり続けるために

～オール京都で次の社会を支える担い手を育成～

開かれた大学

グローバルに開かれた「多様な学生
の受入れ, 多様な学びの場」の創出

多様な学生

幅広い世代を巻き込み, 学生が多様な
ことにチャレンジし, 成長を実感

地域との協働

大学と地域社会や地域企業との協働に
より新しい価値を創造

インターカレッジ

個々の大学が個性をいかした教育活動を
展開し, 大学間連携により学びの環境を
充実させ, 大学の根拠を越えて学生が活躍

社会の変革に寄与する
京都ならではのモデルを創造・発信

<基本方針>

- (1) 「京都」で学ぶ意義の再確認と魅力の向上, 国内外への発信強化
- (2) 大学の個性化・特色化の取組を全面的サポート
- (3) 京都の将来の担い手の育成
- (4) 大学の知・学生の力をいかした産業・文化の創造・発展と地域の活性化

第4編 施策の推進

1 京都で学ぶ魅力の向上

- (1) 大学間連携による学びの充実
- (2) 「安心して安全に学べる京都」の充実
- (3) 大学経営・運営の支援
- (4) 大学施設整備の支援・誘導

2 大学・学生の国際化の促進

- (1) 留学生の誘致促進
- (2) 留学生の受入環境整備
- (3) 留学生の進路・社会進出の支援
- (4) 日本人学生の海外留学促進に資する学びの充実
- (5) 外国の大学との交流促進

3 大学の枠を超えた学生の活動の推進

- (1) 学生の主体的活動の促進
- (2) 学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実
- (3) 大学卒業後の多様な選択肢を描ける学びの機会の充実
- (4) 学生が京都の文化や魅力と触れ合う環境づくり

4 学生の進路・社会進出の支援

- (1) 京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信
- (2) 「働き方改革」の推進と学生を取り巻く就業環境の向上

5 大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化

- (1) 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
- (2) 産学公連携によるイノベーションの創出及び京都経済の活性化
- (3) 大学を活かした文化芸術環境の向上
- (4) 大学と地域との連携の推進
- (5) 小中高大連携の推進

6 国内外への魅力発信の強化

- (1) 「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高生・保護者等への魅力発信
- (2) 留学生誘致に向けた「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力発信
- (3) 大学・市民向け広報の充実

目次

■ 計画の概要

第1編 計画策定の趣旨など

1	はじめに	1
2	これまでの京都市・大学コンソーシアム京都の取組	1
3	計画策定の趣旨	2
4	計画の位置付け	2
5	計画の推進に向けて	2

第2編 大学・学生を取り巻く状況と課題

1	大学・学生を取り巻く状況	3
2	今後の課題	4

第3編 目指すべきビジョンと基本方針

1	ビジョン	6
2	基本方針	7

第4編 施策の推進

1	京都で学ぶ魅力の向上	9
2	大学・学生の国際化の促進	11
3	大学の枠を超えた学生の活動の推進	13
4	学生の進路・社会進出の支援	15
5	大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化	17
6	国内外への魅力発信の強化	20

当該計画内の「大学」には、短期大学・専門職大学・専門職短期大学を含みます。

第1編 計画策定の趣旨など

1 はじめに

京都市は38もの個性と特色あふれる大学・短期大学が立地する「大学のまち」、そして、人口の1割に相当する約15万人の学生が学ぶ「学生のまち」です。

文化、教育、経済はもちろん、まちの活力の維持・発展など、京都のまちづくりの多様な側面において大学・学生は重要な主体であり、大学の発展、学生の成長に関しても、その充実を京都のまちが支えるなど、両者は互いに必要不可欠な存在です。

2 これまでの京都市・大学コンソーシアム京都の取組

京都市では、平成5（1993）年に、「大学のまち・京都21プラン」を策定し、平成10（1998）年に全国初の大学コンソーシアムとして設立された大学コンソーシアム京都と協働しながら、「大学のまち」として他都市に類を見ない先進的な取組を進めてきました。

平成26（2014）年には、京都市と大学コンソーシアム京都が協働して「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018」（計画期間：平成26（2014）年度から平成30（2018）年度まで）を策定し、魅力と個性あふれる「世界に誇る「大学のまち」「学生のまち」」の実現を目指して87の施策を推進してきました。

<「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018」に基づき進めてきた主な取組>

① 学生が学ぶ環境の充実

- ・ 「京都世界遺産PBL科目」の開設など、魅力のある単位互換科目の提供
- ・ 「京都市キャンパス文化パートナーズ制度」の推進による学生が京都の文化を体験できる機会の拡充
- ・ ブラックバイト相談窓口の設置等による「安心して安全に学べる京都」の推進

② 大学・学生の国際化の促進

- ・ オール京都で留学生獲得・支援を行う「留学生スタディ京都ネットワーク」の設立
- ・ 留学生誘致をはじめとした各大学の国際化に向けた取組を支援する「京（みやこ）グローバル大学促進事業」の実施
- ・ 留学生の就職支援マッチングサイト「ハタ洛」の開設

③ 学生の進路・社会進出の支援

- ・ ウェブサイト「京のまち企業訪問」による学生に対する地域企業の情報発信の強化
- ・ インターンシップの充実等による学生と地域企業を結び付ける機会の充実

④ 大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化

- ・ 「京都市成長産業創造センター」等における京都経済の活性化に繋がる産学公の連携推進
- ・ 大学による地域と連携した教育プログラムの開発・実施を支援する「学まち連携大学」促進事業の実施
- ・ 「大学地域連携創造・支援事業（学まちコラボ事業）」における「文化枠」の新設

⑤ 学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化

- ・ 15回の節目を迎えた京都学生祭典への支援
- ・ 「輝く学生応援プロジェクト」等による地域と学生のマッチングの促進

⑥ プロモーション戦略の強化

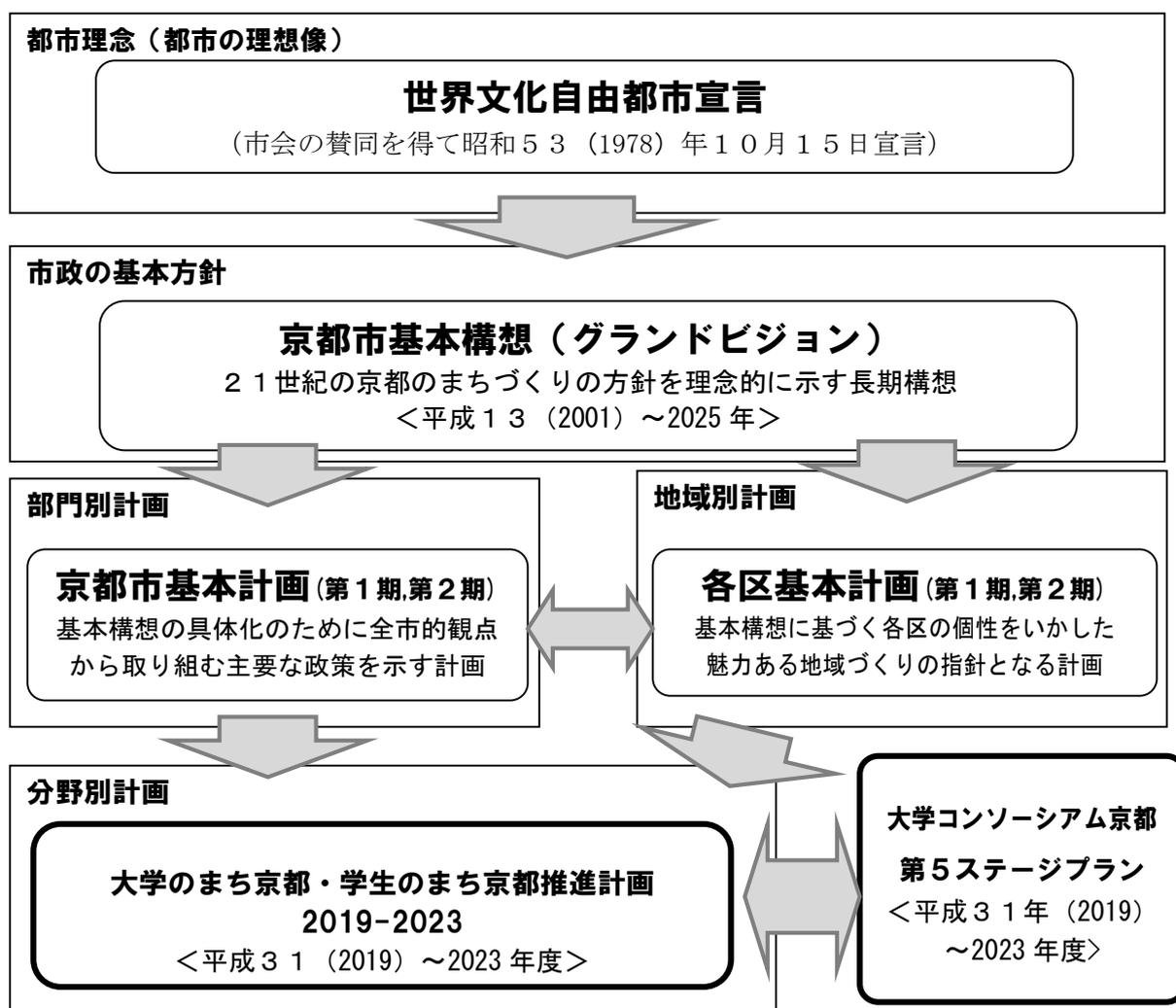
- ・ 中高生を対象に、京都の魅力を学生視点で発信する「京都学生広報部」の創設
- ・ 留学総合ポータルサイトによる情報発信、海外における留学フェアの開催

3 計画策定の趣旨

京都が世界に誇る「大学のまち」「学生のまち」としてより発展していくためには、社会の変化を的確に捉え、京都市と大学コンソーシアム京都が連携を一層強化し、各大学や産業界、地域と一体となって、大学の知や学生の力を核とした大胆な政策を展開することで、世界中から多様な学生が集い、学び合うとともに、時代の変化に対応した将来の担い手を育む拠点となっていく必要があります。

本計画「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2019-2023」は、これらの社会の変化や国の動向を踏まえつつ、京都市と大学コンソーシアム京都が協働で策定し、今後5年間で取り組むべき施策をとりまとめたものです。

4 計画の位置付け



5 計画の推進に向けて

京都市、大学コンソーシアム京都のほか、大学、学生、経済界、NPO、市民などで構成する「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」において、毎年度、本計画の進捗管理や点検を行うとともに、大学や学生等へのヒアリングを定期的に行うことで、取組の深化を図っていきます。

第2編 大学・学生を取り巻く状況と課題

1 大学・学生を取り巻く状況

(1) 18歳人口の減少と学生の獲得に向けた競争の激化

18歳人口は現在の118万人から2030年には103万人となるなど、今後も減少し続けるという推計が示されるとともに、進学率は頭打ちの状況となっていることから学生数は大幅に減少することが予想されます。また、進学において、地元や近接する大学へ進学する傾向や東京圏への集中が課題となるなど、学生の獲得競争が激化しています。

■全国の18歳人口、大学入学者数の推移

	4年度	14年度	24年度	30年度
18歳人口	205万人	150万人	119万人	118万人
入学者数	79万人	73万人	67万人	68万人
進学率	32.7%	44.9%	53.6%	54.8%

※進学率（現役）＝高校等卒業者に占める大学・短期大学進学者の割合

出典：文部科学省「学校基本調査」（各年度5月1日現在）、国立社会保障・人口問題研究所／将来推計人口

(2) 大学・学生数（留学生を含む）の推移

全国の大学数は微減傾向にあり、特に短期大学の減少が顕著です。学生数は、概ね300万人程度で推移しています。また、留学生数に関しては、全国及び京都市のいずれにおいても、増加傾向にあります。

■大学の学校数と学生数の推移

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全 国	大学数	1,141 (359)	1,133 (352)	1,125 (346)	1,118 (341)	1,117 (337)	1,113 (331)
	学生数	3,007,132	2,992,063	2,992,891	3,002,084	3,014,829	3,028,170
京都市	大学数	37 (11)	38 (11)	38 (11)	38 (10)	39 (10)	38 (9)
	学生数	146,528	146,733	145,367	147,137	147,034	147,003

※大学・短大数の（ ）内は短期大学の内数

京都市内の大学・短期大学数は市内に本部が所在する大学・短期大学の数

学生数は市内に学部・研究科が所在する大学・短期大学の学生数

学生数には学部のほか、大学院、専攻科及び別科の学生並びに科目等履修生を含む

出典：文部科学省「学校基本調査」（各年度5月1日現在）

■留学生数の推移

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
全 国	137,756	135,519	139,185	152,062	171,122	188,384
京都市	6,445	6,711	6,822	6,998	7,852	8,317

※京都市内は、市内に本部が所在する大学・短期大学・大学院の留学生数

出典：独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」（各年度5月1日現在）

(3) 大学等卒業者の就職状況

大学等卒業者の就職状況については、前計画時において厳しい状況が続いていましたが、その後就職率は改善に向かっています。

一方、京都市内の中小企業において、経営上の不安要素として「人手不足」を挙げる企業の割合が年々増加しているなど、中小企業における担い手の確保が課題となっています。

■大学卒業者の就職率

		24年3月卒 (2012)	27年3月卒 (2015)	30年3月卒 (2018)
全 国	大学	63.9%	72.6%	77.1%
	短期大学	70.8%	78.1%	81.4%
京都府	大学	61.6%	69.8%	75.2%
	短期大学	64.7%	74.0%	74.6%

※就職率＝就職者数／卒業者の割合

出典：文部科学省「学校基本調査」

■経営上の不安要素に「人手不足」を挙げる京都市内中小企業の割合（複数回答可）

調査時点	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月
割合	14.1%	19.2%	21.8%	28.7%	32.1%

出典：京都市「京都市中小企業経営動向実態調査」（市内800社を対象としたアンケート調査）

2 今後の課題

(1) 「京都ならではの学び」の充実

- ・ 先進的な大学間連携による学びの仕組みや環境の充実による「京都ならではの学び」の追求。
- ・ 学びの多様性を維持・強化していくための、京都に立地する多様な大学の個性化・特色化に向けた取組への支援。

(2) 大学・学生の国際化の促進

- ・ 国際社会で活躍する担い手育成等に向けた、海外からの留学生誘致の推進。
- ・ 京都の将来の担い手育成，定着に向けた，留学生を対象とした各種支援等の取組のさらなる推進。

(3) 学生の主体的な活動とまちづくりの融合

- ・ 地域や企業との接点，文化芸術との触れ合いなど，まち全体がキャンパスとなった学生の成長の後押し。
- ・ 学生の持つエネルギーとチャレンジ精神を地域の課題解決にいかすとともに，学生の地域に対する愛着を高めることにより，地域に定着させていく仕組みづくり。

(4) 学生の進路・就業への対応

- ・ 学生が京都の地域企業について知る機会のさらなる拡充。
- ・ 「働き方」に関する学生の意識の高まりを受けた，地域企業における就業環境の向上。

(5) 大学と産業・文化・地域の連携の推進

- ・ 人生100年時代における、京都ならではの生涯学習・リカレント教育の推進。
- ・ 「京都経済センター」の整備を契機としたさらなる産学公連携の強化。
- ・ 機能強化した新・文化庁の移転や京都駅東南部エリアへの京都市立芸術大学の移転を契機とした、「文化芸術都市」としての京都の魅力向上。

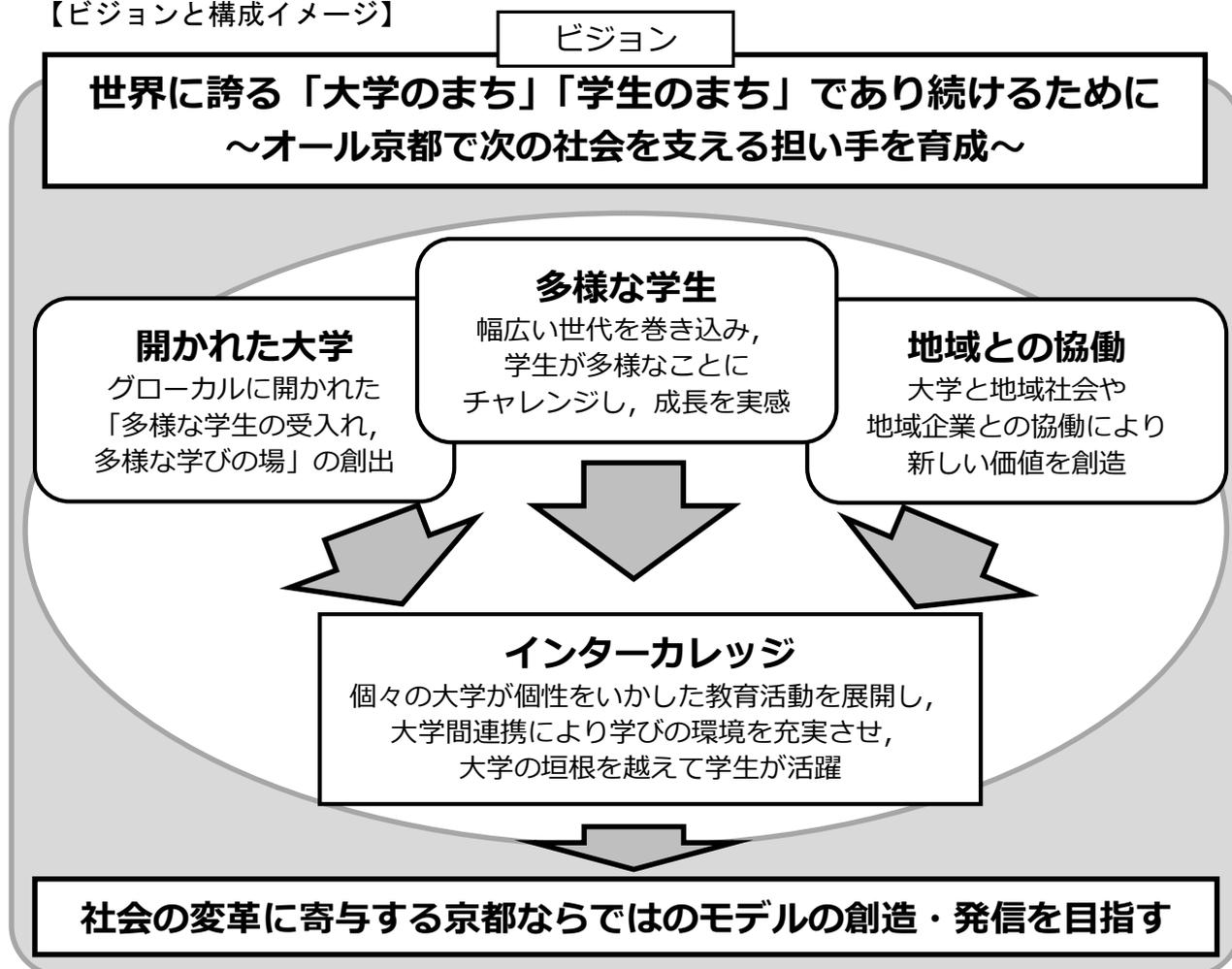
(6) 「大学のまち京都・学生のまち京都」の発信力の強化

- ・ 多様な学生の獲得に向けた、中高生や保護者、留学生、社会人などをターゲットにした戦略的なプロモーションの実施。
- ・ 市民向けのPRの実施による、大学・学生との連携や学生の主体的な活動への理解と協力の意識の拡大。

第3編 目指すべきビジョンと基本方針

1 ビジョン

【ビジョンと構成イメージ】



大学や学生を取り巻く社会潮流の変化はますます大きく、急激なものになっています。

世界に誇る「大学のまち」「学生のまち」であり続けるためには、こうした厳しい状況を新たな挑戦のチャンスととらえ、オール京都で次の社会を支える担い手を育成していく必要があります。「京都ならではの学び」を充実させ、発信するとともに、京都の学生が、その学びや学生生活を通じて、激しく変化する社会を生き抜く力を身に付けてもらうことも大切です。

この計画で目指すビジョンでは、この目的を果たすため、第一にグローバルに開かれた「多様な学生の受入れ、多様な学びの場」を生み出す「**開かれた大学**」づくり、第二に幅広い世代を巻き込んでチャレンジできる環境を創出し、主体的に活躍できる「**多様な学生**」の成長の支援、第三に大学と「**地域社会や地域企業との協働**」による新しい価値の創造を進めていきます。また、これらの取組の推進においては、「大学のまち」「学生のまち」としての特長を最大限に活用し、大学間連携による学びの環境を充実させ、大学の垣根を越えて学生が活躍する、「**インターカレッジ**」により、その充実を図ります。

こうした取組を通じて、社会を取り巻く大きな変革に挑戦し、「京都で学んで良かった」と実感できるまちを実現し、これからの社会の担い手を京都から輩出することを目指します。

2 基本方針

「SDGs」や「持続可能性」、「レジリエンス」(※)の考え方等を踏まえつつ、ビジョンの下、計画で実現をめざしていくものを「基本方針」としてまとめました。

- 1 千年を超えて、都市の機能・文化が継承・発展しつつ、世界にも開かれた稀有な都市「京都」で学ぶ意義を再確認し、誰もが学びを通じて成長を実感できるよう、その魅力を高めるとともに、国内外に強力に発信していきます。
- 2 京都のすべての大学が個性・特色をいかしながら発展し続けられるよう、留学生、社会人を含む多様な学生の獲得をはじめとした大学の取組を全面的にサポートします。
- 3 少子高齢化・人口減少社会に立ち向かうため、留学生を含む学生と地域・企業との繋がりを強化することにより、京都の将来の担い手を育てます。
- 4 大学の知・学生の力を最大限にいかし、産業・文化の創造・発展、地域の活性化をより一層進めます。

※ 「SDGs」や「レジリエンス」の詳細については、8ページを御覧ください。

第4編 施策の推進

第4編では、第3編で示した基本方針やビジョンの実現に向け、今後5年間で推進していく施策を記載しています。

なお、前計画「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018」に掲げられた6本の柱が大学政策の重要なテーマを包括できていることから、これを基本的に継承することとし、それぞれの柱ごとに施策を記載することとします。

6本の柱	
①	京都で学ぶ魅力の向上
②	大学・学生の国際化の促進
③	大学の枠を超えた学生の活動の推進
④	学生の進路・社会進出の支援
⑤	大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化
⑥	国内外への魅力発信の強化

【記載項目について】

○ まちの将来像

6本の柱ごとの推進施策を実施することにより目指すまちの将来像（まちのイメージ）を示しています。

○ 推進施策

本計画に基づき推進する施策を示しています。各施策の実施主体は、京都市及び大学コンソーシアム京都です。

本計画で新たにに取り組む事項には「【新規】」、既存の施策の充実を行う事項には「【充実】」と記載しています。

○ 概要版について

このパンフレットでは、新規・充実施策を中心に紹介しています。その他の施策については、全体の推進施策に関しては、京都市情報館（京都市役所のウェブサイト）の市民意見のページで確認いただけます（詳細は、当該パンフレットの表紙を御覧ください）。

（参考）推進施策を検討するに当たり、考慮する視点：SDGs, レジリエンス

平成27（2015）年9月、国連において気候変動、生物多様性、感染症、紛争など地球規模の課題の解決に向け、先進国と発展途上国が共に取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げられました。「ゴール4：すべての人に包摂的かつ公正な高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」は、「大学のまち」、「学生のまち」である京都に深く関わるものであり、また、その高い知の集積を生かした産学公連携は「ゴール9（イノベーション）」につながるなど、本市等が取り組んできた大学政策は、ゴール4を中心にあらゆるゴールにつながっており、今後も「SDGs」に資する各種施策を強力に推進していく必要があります。

また、人口減少や少子高齢化のみならず、地域コミュニティの希薄化、地震や台風といった自然災害などの都市抱える課題の中、「持続可能性」とともに、あらゆる危機に対応・克服できる能力を意味する「レジリエンス（Resilience）」がキーワードとなっています。京都市は、ロックフェラー財団が提唱し、2013年～2015年の3箇年で世界100都市を募集した「100のレジリエント・シティ」の1都市として選定されました。レジリエントなまちを実現していくためには、次の社会を支える担い手をオール京都で育成していくことが、より一層求められています。



⑤ 災害時における学生の安全の確保

大規模災害時の学生の安全確保を図るため、各大学やキャンパスプラザ京都における大規模災害に備えた安全対策や非常用物資備蓄などを推進します。

(3) 大学経営・運営の支援

① FD（ファカルティ・ディベロップメント）・SD（スタッフ・ディベロップメント）事業の充実【充実】

FD^{注7}事業及びSD^{注8}事業において、階層や分野別の研修を実施し、教員と職員が目標を共有し、協働で大学運営に取り組む教職協働の視点を踏まえたプログラムの開発・実施を進めます。

② 中小規模大学をはじめとする大学の特色化・機能強化の支援【新規】

投資の選択と集中による大学の特色化・機能強化を支援するため、共同化が可能な取組・事業に関する研究や大学運営に関するノウハウを共有する仕組みづくりを推進します。

③ 大学コンソーシアム京都における情報収集・発信機能の強化【充実】

国等の政策動向，高等教育に関する全国・各地域の動向など，大学コンソーシアム京都や加盟校の大学運営に関わる情報収集・調査活動を強化します。

④ 大学コンソーシアム京都加盟校への高等教育に関する情報提供の充実【充実】

京都において大学運営等に関する最新の情報を得る場を創出するため，高等教育に係る研究者や実務経験者等を定期的に招聘した研究会等を開催します。

(4) 大学施設整備の支援・誘導【充実】

- ・ 各大学の個性をいかした施設整備に関して総合的に相談に応じる「大学施設整備支援窓口」において、技術的な助言や関係機関との調整など、施設構想の段階から整備終了までの一貫した迅速な支援を継続して実施します。
- ・ 京都市の都市計画（都市計画マスタープラン、持続可能な都市構築プラン（仮称））において、「大学のまち」「学生のまち」として、大学の機能充実を明確に位置付け、施設整備の更なる支援を行います。

注1 単位互換制度

…他大学が開講する科目を履修し、修得した単位が所属大学の単位として認定される制度。大学間で単位互換包括協定を締結し、科目を提供。

注2 京都世界遺産 PBL 科目

…京都の世界遺産をフィールドに PBL を展開する科目。各大学と明日の京都文化遺産プラットフォーム、大学コンソーシアム京都が協力して平成 27（2015）年度より開設。

注3 PBL

…課題発見・解決型学習。主にグループでの学習を通じて、自ら課題を発見し、解決策を提案。その過程を通じて様々な能力を身に付ける。

注4 異文化リテラシー

…多様な言語・社会・芸術文化を深く理解し、教育課題、さらには現代的課題の解決に向けたビジョンや技法を構想しマネジメントする力。

注5 e-ラーニング

…パソコンやモバイル端末などの電子機器や IT ネットワークを利用した教育や学習。

注6 京都市わかもの就職支援センター

…新卒・既卒の方の就職支援として、個別カウンセリングや就職セミナー等を実施。学生等と社会人がカジュアルに交流できるイベントを定期的に開催。

注7 FD

…Faculty Development の略。教員の教育力向上と大学の組織的教育改善の取組。

注8 SD

…Staff Development の略。職員の職能開発。

⑥ 災害時における留学生等の安全の確保

大規模災害時の留学生の安全確保を図るため、京都市総合防災訓練や京都市国際交流会館における防災訓練への留学生を含む外国籍市民の参加を促進するとともに、災害時における京都市国際交流会館を拠点とした翻訳・通訳支援、多言語に対応した、防火防災パンフレットの市内各所での配布や防災ポータルサイト「京都市防災危機管理情報館」での防災関連情報の発信等を行います。

(3) 留学生の進路・社会進出の支援

① 留学生の就職支援・マッチング事業の強化【充実】

留学生と京都市内に本社・支社等を有する企業を対象とした求人・求職のためのマッチングサイト「ハタ洛」^{注12}の機能を充実します。

② 留学生の採用に積極的な地域企業の支援【充実】

- ・ 「ハタ洛」を通じたマッチング機会の提供や課題・不安に関する相談機能の強化、留学生採用の実績を有する先行企業に関する情報の提供など、留学生の採用に積極的な地域企業の採用活動を関係機関と連携して支援します。
- ・ 地域企業における留学生の就労支援に際して必要となる提出書類及び審査の簡素化について、関係機関との協議を継続していきます。

③ 留学生と企業がつながる機会の充実【充実】

関係機関との連携により、留学生と採用を考える企業の双方が抱える課題を解決するためのセミナーや交流会の開催、留学生向けインターンシップの充実など、留学生と企業がつながる機会の創出を推進します。

(4) 日本人学生の海外留学促進に資する学びの充実と活用【充実】

- ・ 京都や日本の伝統文化の魅力を英語で的確に伝えられる担い手を育成する「「京都PR学生大使」制度」^{注13}などを活用し、留学先での学びの充実を後押しするとともに、海外において京都をPRいただくことにより、京都ファンや京都への留学生の増加につなげます。
- ・ 「京（みやこ）グローバル大学促進事業」^{注14}等を通じて大学や関係機関との連携を強化し、大学・学生の国際化を促進します。

注9 留学生スタディ京都ネットワーク

…京都における留学生の誘致及び受入体制の整備をオール京都で推進するため、京都の大学、日本語学校、専修学校、企業、経済団体、京都府、京都市などにより平成27（2015）年5月に設立。

注10 来日直後の留学生を支援する「ウェルカムパッケージ」事業

…行政手続きや生活ルール等に係るガイダンスの実施等による情報提供や区役所における手続きサポートなどのメニューを用意し、留学生を支援・サポートする事業。

注11 Kyoto Housing Search for International Students

…留学生スタディ京都ネットワークが設置・運営する、留学生のための多言語賃貸住宅情報サイト（平成29（2017）年1月開設）。

注12 ハタ洛

…京都市が設置・運営する、留学生と企業を対象とした求人・求職のためのマッチングサイト（平成30（2018）年1月開設）。

注13 「京都PR学生大使」制度

…大学コンソーシアム京都が実施する「英語で京都をプレゼンテーション講座」修了者のうち希望する学生を「京都PR学生大使」として任命し、留学先などで京都の魅力について自由に発信しながら、京都のPRに努めていただく制度。

注14 京（みやこ）グローバル大学促進事業

…「京（みやこ）グローバル大学」として認定された10大学が実施する、留学生誘致や、日本人学生の海外留学派遣、交換留学にもつながる海外大学との連携などの国際化促進事業に対して補助金を交付する事業。

② 地域活動への学生の参画促進

学生の自治会や消防団等への加入促進等に繋げる広報・啓発活動や、「むすぶネット」, 「学生ボランティアチャレンジ」^{注16}などの取組を推進します。

③ 地域連携ウェブサイト（仮称）の開設【新規】

大学・学生と地域の連携事例を発信するウェブサイトを開設し、ノウハウや取組の成果などを共有することで、新たな連携や取組の深化を促進します。

(3) 大学卒業後の多様な選択肢を描ける学びの機会の充実

① インターンシップの充実【充実】

教育プログラムとしての質の向上を図るとともに、インターンシップの受入先における組織課題解決等に資する、経済団体等とも連携した、京都型長期インターンシップを構築します。

② 多様な生き方・学びを考える機会の創出【充実】

京都市わかもの就職支援センターで実施しているインターンシップ事業「京都の中小企業の魅力再発見プロジェクト」^{注17}や「しごとトークKYOTO」^{注18}, また、西陣織をはじめとした伝統工芸の職人と語り合う機会の創出など、学生と京都で働く社会人の交流イベントの開催と周知の強化等により、学生が卒業後の生き方等について考える機会づくりを進めます。

(4) 学生が京都の文化や魅力と触れ合う環境づくり

① 学生が京都の魅力や文化に触れる機会の拡充【新規】

学生が文化施設で優待を受けることのできる「京都市キャンパス文化パートナーズ制度」等のアプリケーションやSNS等を活用した更なる周知等により、学生が京都の文化に触れる機会の拡充に取り組みます。

② 若手芸術家・クリエイターの育成【充実】

新たな京都文化を生み出す若手芸術家・クリエイターを育成するため、「芸術文化特別奨励制度」^{注19}の実施や「学生アートオークション」^{注20}への支援を行います。また、大学等と連携した、文化を対象とする新たな顕彰制度の創設を検討します。

注15 コトカレ

…京都の学生が全国の中高校生に向けて「京都の魅力」や「京都の大学生生活」を様々な観点から紹介するウェブサイト。サイト内の記事は全て学生が企画・取材執筆・編集しているため、リアルな学生生活を知ることができる。

注16 学生ボランティアチャレンジ

…社会貢献活動等に関心のある学生とボランティア活動とをマッチングすることにより、学生が社会的な課題や社会貢献活動に触れる機会を創出するとともに、コーディネーターの指導の下で活動の振り返りを行うことにより、学生の成長をサポート。

注17 京都の中小企業の魅力再発見プロジェクト

…京都市わかもの就職支援センターがインターンシップ生を受入れ、市内の中小企業を取材し、成果報告会やWEBによる情報発信を実施。

注18 しごとトークKYOTO

…京都市わかもの就職支援センター主催の学生等と京都で働く社会人が、仕事や働くことについて語り合うイベント。

注19 芸術文化特別奨励制度

…新たな芸術文化の創造を促進し、京都の芸術文化の振興を図ることを目的に、特に有望と認められる若い芸術家を奨励する制度。

注20 学生アートオークション

…京都が誇る美術系大学の学生達の創作のクオリティーを世界に発信し、同時に経済的・社会的に評価を受けることのできる環境を継続して創ることを目的とした京都学生アートオークション実行委員会主催のオークション。

(2) 「働き方改革」の推進と学生を取り巻く就労環境の向上

① 働き方改革実践企業等の学生への周知【新規】

「京の企業「働き方改革」自己診断制度」により、働き方改革の「実現のための仕組み」や「行動」、「実績・成果」を確認できる自己診断票を企業に提供し、女性や若年者、外国人等の活躍にも資する企業の働き方改革を推進するとともに、働き方改革に取り組む企業の情報を、学生をはじめとする若年求職者に紹介するため、学生等の意見を取り入れたうえで、ウェブサイト「京のまち企業訪問」で発信します。

また、「京都モデルワーク・ライフ・バランス認証企業」など、働き方改革に取り組む企業に対して、学生へのPR機会や学生との意見交換の場を創出します。

② 学生を取り巻く就労環境の向上【充実】

ブラック企業・ブラックバイトの根絶に向け、オール京都で推進する「京都ブラックバイト対策協議会」における、学生や事業主等に対する周知や啓発を強化するとともに、京都市わかもの就職支援センターにおける「ブラックバイト相談窓口」や「働くルールを知るセミナー」、「学生アルバイト・トラブル相談会」等の実施、広報の充実に取り組むことで、「学生のまち」における学生の就労環境向上に取り組めます。

注 21 京のまち企業訪問

…就職活動中の学生や求職者の方に企業が持つ魅力や強み、特徴等についてウェブサイト上で広く公開し、就職活動、企業情報収集、企業研究等に活用していただくことを目的とした企業情報公開サイト。

注 22 京都市中小企業未来力会議

…地域の多様な業種の若手経営者が集まり、地域企業が持続的に発展していくため、直面している経営課題について、業種横断的に議論。「現場の声」を反映した実効性ある取組を検討・推進するとともに、企業間連携による「社会課題」や「地域課題」、「経営課題」の解決につながる新たなビジネスプランの創出を図る。

注 23 Kyoto Makers Garage

…ものづくりベンチャー企業の事業化支援等を行う拠点。ベンチャー企業向けのコワーキングスペースや、3D プリンター等の製品試作に必要な機器を揃えるとともに、起業家、学生等を対象としたイベントも定期的に開催。

注 24 Monozukuri Hub Meetup Cafe

…ものづくりベンチャー企業の創出と育成を目的に起業やものづくりに関連したワークショップ等の様々なイベントを開催。

注 25 京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想

…平成 27 (2015) 年度から京都市で推進している構想で、市民、企業、NPO、大学などの多種多様な組織や個人が、1200 年の歴史に培われた京都を舞台にして、社会的課題の解決に挑戦することで、過度の効率性や競争原理とは異なる価値観を、日本はもとより、世界にも広めていこうとするもの。

- ・ 京都市ライフイノベーション創出支援センター^{注29}において、大学研究者等を対象とした、研究開発への助成事業の実施やコーディネーターによる企業等とのマッチングを促進します。

④ コンテンツ産業の振興【充実】

- ・ 大学等と連携することにより、日本初のマンガ文化の総合拠点であり、MANGA ナショナル・センター（仮称）^{注30}のハブ（軸）機能としての位置付けを目指す京都国際マンガミュージアムの機能充実を図ります。
- ・ 作品コンテストや企業等とのマッチングを通じてコンテンツ産業を支える優秀なクリエイターの育成に繋がります。

(3) 大学をいかした文化芸術環境の向上

① 京都市立芸術大学新キャンパスをいかした文化芸術創造拠点の整備【新規】

京都の玄関口である京都駅東部に移転する京都市立芸術大学の新キャンパスにおいて、学生や市民、国内外の芸術家等をはじめ国際的に様々な人が集い、「創造・交流・賑わい」を創出し、世界へ発信する場としての文化芸術創造拠点を整備します。

② 「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンの創生【新規】

京都駅東部エリアにおいて、京都市立芸術大学の移転を契機として、文化芸術を学んだ若者や関心のある若者が国内外から集まり、新たな価値を生み出すとともに、文化芸術関連の情報発信基地となる、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生します。

③ 新・文化庁との連携強化【新規】

機能強化して京都に移転してくる新・文化庁と大学コンソーシアム京都、各大学との連携を進め、相互の人的、知的資源等の交流と活用を図ることで、研究活動の促進や、研究成果の教育への還元と文化芸術の担い手育成等を推進するとともに、留学生を含む学生、市民等の文化力の向上に繋がります。

④ 大学の知をいかした文化力の向上【充実】

「京カレッジ」において、新・文化庁や各大学と連携した文化芸術等に関する教養講座の開設や大学が実施する市民向け公開講座の効果的な発信を行い、大学の知をいかした文化力向上に資する取組を推進します。

(4) 大学と地域との連携の推進

① 大学と地域の連携強化【充実】

ゼミやサークル等の単位で行われている、町内会等との連携活動を大学全体の取組へと発展させていくプログラムへの支援を行う「学まち連携大学」促進事業等を実施することにより、大学のカリキュラムの中で地域での学びが促進されるよう、各大学における取組を後押しします。

② 大学と地域の連携事例の発信【新規】

新たに開設する地域連携ウェブサイト（仮称）や「大学・地域連携サミット」などの機会を通じて、大学・学生と地域の連携事例などを効果的に発信します。

③ 学生の力をいかした住民自治の活性化【新規】

市営住宅等の空き住戸を活用し、学生の居住や自治会への参画を促すことで、地域における学生の学びの場を創出するとともに、住民自治の活性化を図ります。

(5) 小中高大連携の推進

① 教職員交流企画の実施【新規】

「高大連携教育フォーラム」^{注31}でのネットワークを活用し、高校や大学の教職員がそれぞれの学校における課題やその解決に向けた情報交換や研究、先進事例の共有を行うための教職員交流企画を実施します。

② 高大社連携キャリア教育企画の充実【充実】

高校生・大学生のキャリア発達を目的としたプログラム「高大社連携キャリア教育企画」において、様々な世代や経験を有する他者との交流を通じて、多様な価値観を理解できるよう、プログラムの充実を図ります。

③ 京都学生広報部への高校生の参画の促進【新規】

京都学生広報部の活動を中高生に広めていくため、京都学生広報部の学生と高校生との共同イベントの企画や「京都B&Sプログラム」^{注32}との協力のもと、学生と修学旅行生が交流する機会を創出します。

注 26 京カレッジ

…高度化・多様化する社会人の学習ニーズに応える生涯学習事業として、約 40 もの大学等が特色ある授業科目や公開講座を市民に提供。

注 27 京都市成長産業創造センター

…大学・研究機関、企業などの産学公が連携し、化学分野における最先端の大学の研究成果を実用化につなげる研究プロジェクトを推進することにより、付加価値の高い高機能性化学品の創出を通して、産業競争力の確保・新規事業の創出を図る研究開発拠点。

注 28 京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」

…独立行政法人科学技術振興機構から高度研究機器の無償貸与を受け、桂イノベーションパーク及び京都市リサーチパークにおいて、京都大学などのバックアップを得ながら、先端光加工プロジェクトとバイオ計測プロジェクトを推進し、機器の共用利用による共同研究の促進や高度技術者の育成などを展開する事業。

注 29 京都市ライフイノベーション創出支援センター

…京都大学構内に設置した、次世代医療分野や健康・福祉・介護分野におけるいて、産学公連携による研究開発、事業化促進及び販路開拓等の支援を行う拠点。

注 30 MANGA ナショナル・センター（仮称）

…国等において整備が検討されている、マンガ・アニメ・ゲーム（MANGA）に関する①資料の蓄積、②人財の育成や産業振興、③点在する関連施設の連携拠点としての国際的な情報発信と人の交流の促進を目指す拠点。

注 31 高大連携教育フォーラム

…高校と大学を取り巻く環境の情報共有と、京都における高大連携の取組の情報発信を目的として実施。

注 32 京都B&Sプログラム

…京都を訪れる修学旅行生等に対し、京都の現役大学生が観光地や大学キャンパスなどを一緒に街歩きし、京都の魅力を直接紹介する教育旅行プログラム。

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019-2023（案）」に関する御意見と愛称を募集します！

募集期間：平成 年 月 日()～平成 年 月 日()《必着》

○ 応募方法

郵送，FAX，電子メール，京都市情報館（京都市ホームページ）内の送信フォーム，持参のいずれかで「京都市総合企画局総合政策室（大学政策担当）」まで御応募ください。様式は問いませんが，次ページを応募様式として使用いただけます。

○ 応募・問い合わせ先

〒604-8571 （住所の記入は不要）
京都市総合企画局 総合政策室 大学政策担当
電話 075-222-3103 FAX 075-212-2902
電子メール daigakuseisaku@city.kyoto.jp

○ 御意見の取扱いについて

いただいた御意見につきましては，意見募集の終了後に，御意見の概要及び御意見に関する本市の考え方を取りまとめ，後日，京都市情報館（京都市ホームページ）においてお知らせする予定です。御意見に対する個別の回答は致しませんので，あらかじめ御了承ください。

なお，この意見募集で収集した情報は，「京都市個人情報保護条例」に基づいて適切に取扱い，他の目的に利用することは一切ありません。

○ その他

このパンフレット及び「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019-2023（案）」の全文は，京都市情報館（京都市役所のホームページ）の市民意見のページで御確認いただけます。

＜アクセス方法＞

【京都市情報館】⇒【市政情報】⇒【市民参加】⇒【市民意見（パブリックコメント）】⇒【「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019-2023（案）」に関する市民意見の募集について】

URL：〇〇〇

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019-2023」(案) について

※ 詳しい応募方法については、前ページを御確認ください。

FAX等で送付いただく場合は、この用紙をお使いください。

(FAX) 075-212-2902

京都市総合企画局 総合政策室 大学政策担当 宛

意見記入欄	
愛称案	

御意見を取りまとめる際の参考にしますので、差し支えない範囲で御記入ください。
(それぞれに○印をお付けください。京都市にお住まいの方は区もお答えください。)

- 【年代】 20歳未満 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代以上
【区分①】 京都市内に在住(区) 京都市内に通勤・通学 それ以外
【区分②】 学生 大学関係者 それ以外



この印刷物が不要
になれば
「雑がみ」として
古紙回収へ!

